

様式 1 (第5条関係)

設計内容説明書（一戸建ての住宅用）

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

[illegible]

				☐	
	換気	換気設備方式	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
	熱交換	熱交換型換気設備	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
	太陽給湯	太陽給湯装置	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
	給湯	給湯熱源機	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
		配管について	☐ ()		
		水栓について	☐ ()		
		水栓について	☐ ()		
	CG	コージェネレーションの種類について	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
	照明	照明について	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
	発電	太陽光発電の採用について	☐ ()	☐ 仕上表 ☐ 建具表 ☐ 矩計図 ☐	
3 その他 の措置	選択的項目	節水	☐ 節水トイレの設置 ☐ 節水水栓の設置 ☐ 食器用洗浄機の設置	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐	
		雨水等の利用	☐ 雨水利用 ☐ 井水利用		
		一次エネルギー削減に資する設備	☐ HEMSの採用		
		定置型蓄電池の設置	☐ 再生可能エネルギー及び蓄電池		
		ヒートアイランド	敷地緑化等 ☐ 敷地又は水面の面積が敷地面積の10%以上		

			敷地の高反射性塗装 ☐ 日射反射率の高い塗装の面積が敷地面積の10%以上		
			屋上緑化等 ☐ 緑化を行う又は日射反射率等の高い屋根材を使用する面積が屋根面積の20%以上		
			壁面緑化等 ☐ 壁面緑化を行う面積が外壁面積の10%以上		
			☐ 緑化等面積率+日射反射面積率+屋根緑化等面積率×1/2+壁面緑化面積率≥10%		
		住宅の劣化の軽減	劣化対策 ☐ 劣化対策等級3以上		
		木造建築物	木材の利用 ☐ 木造建築物		
	高炉セメント等	主要構造部における高炉セメント等の使用 ☐ 高炉セメント ☐ フライアッシュセメント			
	その他	ライフサイクルCO ₂	☐ ()	☐	
4 資金計画		建築に係る資金計画	☐ 資金計画	☐ 申請書	

- 備考 1 「建築物の名称」欄には、建築物が特定できる名称を記入してください。同一敷地内に複数の建築物が存する場合には、記号等を用いて区別してください。未定の場合は、その旨を記載してください。
- 2 共同住宅等の場合は「住戸番号」欄に当該住戸が特定できる番号を記載してください。異なる審査対象住戸であっても、設計内容が同一である場合は、住戸番号をまとめて記載することができます。
- 3 「建築物の所在地」欄には、建築物が特定できる地名地番及び住居表示が実施されている場合は当該住居表示を記入してください。
- 4 「審査員氏名」欄には、登録建築物調査機関等における審査の場合に、審査を行う審査員がその氏名を記載してください。
- 5 ※の付されている欄は、設計者等が記入してください。
- 6 「設計内容説明欄」の「設計内容」欄には、今回計画に該当する内容のチェックボックスに「✓」マークをいれて下さい。また、カッコ書きがあるものには、その概要を記載してください。
- 7 「設計内容説明欄」の「記載図書等」欄には、今回計画に該当する内容が記載等されている図書等のチェックボックスに「✓」マークをいれて下さい。
- 8 「設計内容確認欄」は、審査を行う者がその左の欄の記載事項を確認したことを記録するために用いてください。
- 9 様式内の欄に書ききれない場合は、別紙を用いることができます。この場合にあつては、別紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号等を記載してください。